

見てくる女

岡本 悠

河部は、うろたえた、なんで、そんなに見てくるの？

河部は、高校を1年生で、中退した

母に連れられて、予備校に行った

母と塾長が話合い

大検を目指すことで、話がまとまった

俺は、心持ち、静かな、優等生タイプだった

ただ、周りとは接するのは苦手だった

特に、綺麗な女の先生が1人いたが

緊張して駄目だった

時間との戦いでもあった

とにかく、暇な時間が多い

予備校につく前に、ずっとCDショップにたむろするが

ドラゴンアッシュなどが「今じゃ、雑誌のカバー」などと唄っていた

華原朋美や、浜崎あゆみ、なども、あった気がする

予備校の休み時間も、本屋などに行くが

読みたい本もなく

唯一、松本人志の「遺書」などを読んでいた

仕方なく、弁当を公園で食べていたこともある

塾長は、たまに、俺を、食事に誘い出してくれた

講師の先生方も、出前を注文してくれた

静かなタイプと、破廉恥なタイプがいたが

破廉恥なタイプの生徒は

塾長に暴行を受けていた気がする

なんのための予備校なのか、わからなかった

年上のある男性の生徒は

住職を継ぐと言っていたから

ある程度、道は決まっていたようだった

その住職の人と、講師の2人は仲が良く

たまに、話に混ぜてもらった

その住職の人と、同じ年のクールな男性がいたが

3人で一緒にその辺を散歩しようということになったが

2人が前を歩いていたので

つまらなくなり、どんどん距離を置いて

結局、そういう奴か、という態度を見せてしまった

まあ、向こうもその程度のことは、わかっていた気がする

プロレスが好きだったから、

ヤンチャ組が、「ノーフィアー！」と言って、笑っているのを、遠くから聴いていた

診断されたことはないが、女性恐怖症だった

水泳教室で、帽子を買いたいと思った時

うまく喋れないで、キョトっていたので

俺が、後ろを向いた時、2人の女性に笑われて傷ついたこともある

コンビニでも、ファミリーレストランでも、女性から買うのが苦手だった

違う塾にも、勢いで通ったことがあるが、

その女の先生に

「緊張してしまいます」と云ったことがある

その先生は「緊張するの？」と困っていた

だから、この予備校でも

その綺麗な女の先生から

勉強を習う時、

物凄く緊張した

息ができないうらい緊張したので

3問くらい習うのがやっとだった

ある日、同じ年くらいの

不登校か何かでやってきた女の子がいた

その子には別段緊張しなかったが

とにかく、人の顔をジーンと見てくる子だった

あまりに俺のほうをジーンと見てくるので、

俺は、知らないフリをして勉強していたが

住職の生徒と、講師の先生たちが

「河部君のほうを、ずっと見ていたよね」

と、笑っていた

俺も、やっとの思いで、見返すと

1回は逸らしたりするが、また見てきたりした

ただ、その子への皆の風当たりは強く

予備校なのに、イジメみたいになってしまったのか

いつの間にか、辞めてしまった

今にしてみれば、俺も、相当、視線には強くなったから、

あの子と、睨めっこをしてみたいところだが、

今なら、自分が男だという性分を含めて、楽勝だと思う

人は哀しいもの 人は哀しいものなの？ 人はうれしいものだって それでも思っ
ていていよね

浜崎あゆみのエンドロール

あの頃は、重たいよって...

「完」